

みやぎ・復興の歩み 13

つなぎ、伝えていくこと

2011.3.11 - 2024.3.11



みやぎ・復興の歩み 13

つなぎ、伝えていくこと

Contents

- 01 東日本大震災の概況
- 02 被害状況／知事あいさつ
- 03 新・宮城の将来ビジョン／宮城県震災復興計画／県内市町震災復興計画
- 04 復興の進捗状況
- 08 みやぎの復興の歩み 2011.3-2024.3
- 11 地域の復興状況（気仙沼・本吉エリア）
- 13 地域の復興状況（石巻エリア）
- 15 地域の復興状況（仙台沿岸エリア）
- 17 宮城の復興と伝承

東日本大震災の概況

平成23年(2011年)3月11日(金)午後2時46分、東日本大震災が発生しました。東日本を中心に大きな揺れが約3分間続き、電気、ガス、道路などインフラが大きな被害を受けました。また、地震で発生した巨大津波により、県内では1万人を超える死者・行方不明者を出しました。沿岸地域では、従来、一定の津波対策や防災教育を行ってきましたが、この巨大津波を防ぐことはできず、広範囲にわたり壊滅的な被害を受け、最大32万人を超える被災者が避難所での生活を余儀なくされました。また、東京電力福島第一原子力発電所が津波で被災し、宮城県においても、放射能測定や各種検査などの対応に追われました。



寄せ波



引き波(約6分後)



地震名	平成23年(2011年) 東北地方太平洋沖地震
発生日時	平成23年3月11日(金) 午後2時46分
発生場所	三陸沖(北緯38.1度、東経142.5度) ※ 牡鹿半島の東約130km付近
震源の深さ	24km
最大震度	震度7(栗原市)
規模	マグニチュード9.0

知事あいさつ

東日本大震災から13年が経過しました。この間、国内外の皆さまから賜りました多大なるご支援、ご協力に改めて感謝申し上げます。

本県では、これまで、「創造的な復興」を目指し、人口減少、少子高齢化など現代社会の諸課題を解決するモデルとなるような地域づくりを進め、仙台空港の民営化や医学部の新設などを実現させたほか、昨年4月には、台湾の航空会社が新たに国際定期便の運航を始めるなど、その取組が着実に実を結んでおります。

一方で、個々の状況に応じた中長期的なサポートが必要とされる被災された方の心のケアやコミュニティ再生などの課題に対しては、復興の完遂に向けて今後も全力で取り組むこととしております。

また、時間の経過とともに震災の記憶の風化や関心の低下が懸念されていることから、震災の記憶や教訓をしっかりと伝え継ぎ、今後の災害で尊い命や財産を守ることができるよう、震災伝承の取組に力を入れております。

「みやぎ・復興の歩み13」は、これまでの震災復興の取組やその経過、現在の状況をまとめたものです。

これまでの宮城の復興に向けた歩みと、復興の完遂に向けて歩み続ける宮城の今を感じていただければ幸いです。



宮城県知事
村井嘉浩

大高森展望台(東松島市)

被害状況

1 人的被害 (R5/9末現在)

死者	10,571 人
行方不明者	1,215 人

○死者のうち 932 人が関連死
○全国の被害者総数の約 5 割に相当

2 住家被害 (R5/9末現在)

全壊	83,005 棟
半壊	155,131 棟

○全国の被害総数の約 6 割に相当

3 避難の状況

平成23年12月30日県内の全避難所が閉鎖

ピーク時	避難所数 (35市町村)	1,323 施設 (H23/3/15時点)
ピーク時	避難者数	320,885 人 (H23/3/14時点)

	H24年4月	R5年10月末
プレハブ仮設住宅入居者	53,269人	0 人
民間賃貸借上住宅入居者	67,753人	12 人
県外避難者数	9,206 人	74 人

4 ライフライン関係被害

平成23年12月11日
県内のライフラインが全て復旧(津波で壊れた地域を除く)

ピーク時	停電	1,545,494 戸
ピーク時	給水支障	35 市町村
ピーク時	ガス供給支障	13 市町

5 浸水面積

浸水面積	327 km ²
------	---------------------

青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の4県合計の浸水面積 561km²の約6割、東京都 23 区の面積の半分以上に相当

6 地盤沈下

海拔 0m 以下の面積	56 km ²
-------------	--------------------

震災後増加割合 3.4 倍

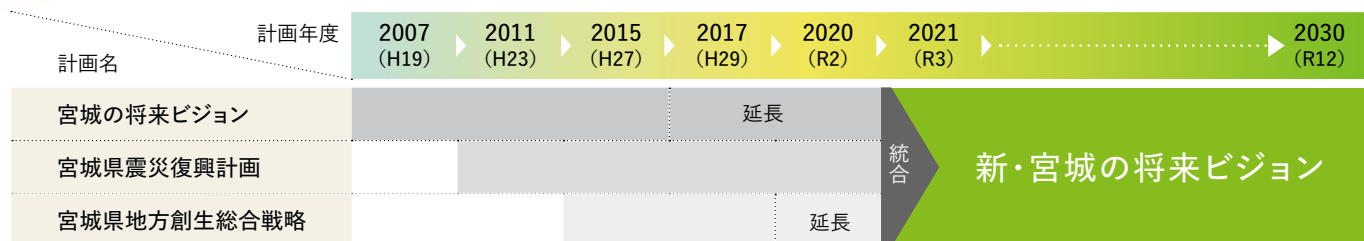
7 被害額[確定] (R3/9末)

交通関係	103 億円	鉄道、バス、羅島航路 ※東日本旅客鉄道分を含みません。
ライフライン施設	2,394 億円	電気、水道、都市ガス、通信・放送施設
保健医療・福祉関係施設	507 億円	医療機関、社会福祉施設など
建築物(住宅関係)	5 兆 1,000 億円	
民間施設など	9,906 億円	工業、商業、自動車・船舶など
農林水産関係	1 兆 2,952 億円	農業、畜産業、林業、水産業など
公共土木・交通基盤施設	1 兆 1,181 億円	道路、河川、海岸、港湾、下水道など
文教施設	2,097 億円	学校、社会教育施設、文化財施設など
廃棄物処理・し尿処理施設	54 億円	
その他の公共施設など	774 億円	観光施設、消防・警察関係施設、庁舎など
計	9 兆 968 億円	※繰越処理の関係上、合計が一致しない場合があります。

新・宮城の将来ビジョン

宮城県は、「宮城の将来ビジョン」、「宮城県震災復興計画」及び「宮城県地方創生総合戦略」を一つの計画に統合した「新・宮城の将来ビジョン」を策定しました。

新ビジョンは、2021年度を初年度とし、2030年度を目標年度とする県政運営の基本方針です。



新ビジョンでは、被災地の復興完了に向けたきめ細かなサポートとして次の4つの取組分野を掲げ、一つひとつの課題に応じた丁寧なサポートを実施していきます。

被災地の復興完了に向けたきめ細かなサポート

- 取組分野 1**
 生活再建の
 状況に応じた
 切れ目のない支援
- 取組分野 2**
 回復途上にある
 産業・なりわいの
 下支え
- 取組分野 3**
 福島第一原発
 事故被害への
 対応
- 取組分野 4**
 復興事業の
 フォローアップと
 成果・教訓の伝承

宮城県震災復興計画 2011年3月11日に発生した東日本大震災からの復興の道筋を示す計画として策定しました。

復興を達成するまでの期間をおおむね10年間とし、令和2年度を復興の目標に定め、その計画期間を「復旧期」、「再生期」、「発展期」の3期に区分しました。

計画期間：10年間（目標：令和2年度）

復興のポイント



基本理念

- 1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり
- 2 県民一人ひとりが復興の主体・総力を結集した復興
- 3 「復旧」にとどまらない抜本的な「再構築」
- 4 現代社会の課題を解決する先進的な地域づくり
- 5 壊滅的な被害からの復興モデルの構築

- ① 災害に強いまちづくり宮城モデルの構築
- ② 水産県みやぎの復興
- ③ 先進的な農林業の構築
- ④ ものづくり産業の早期復興による「富県宮城の実現」
- ⑤ 多様な魅力を持つみやぎの観光の再生
- ⑥ 地域を包括する保健・医療・福祉の再構築
- ⑦ 再生可能なエネルギーを活用したエコタウンの形成
- ⑧ 災害に強い県土・国土づくりの推進
- ⑨ 未来を担う人材の育成
- ⑩ 復興を支える財源・制度・連携体制の構築

県内市町震災復興計画 県内21市町においても、地域の実情に応じた震災復興計画を策定しました。

沿岸部市町	震災復興計画	策定期期
仙台市	仙台市震災復興計画	平成23年11月 (平成27年度で計画期間終了)
石巻市	石巻市震災復興基本計画	平成23年12月 (令和2年度で計画期間終了)
塩竈市	塩竈市震災復興計画	平成23年12月 (令和2年度で計画期間終了)
気仙沼市	気仙沼市震災復興計画	平成23年10月 (令和2年度で計画期間終了)
名取市	名取市震災復興計画	平成23年10月 (令和元年度で計画期間終了)
多賀城市	多賀城市震災復興計画	平成23年12月 (令和2年度で計画期間終了)
岩沼市	岩沼市震災復興計画マスタープラン	平成23年9月 (令和2年度で計画期間終了)
東松島市	東松島市復興まちづくり計画	平成23年12月 (令和2年度で計画期間終了)
亘理町	亘理町震災復興計画	平成23年12月 (令和2年度で計画期間終了)
山元町	山元町震災復興計画	平成23年12月 (平成30年度で計画期間終了)
松島町	松島町震災復興計画	平成23年12月 (平成27年度で計画期間終了)

沿岸部市町	震災復興計画	策定期期
七ヶ浜町	七ヶ浜町震災復興計画	平成23年11月 (令和2年度で計画期間終了)
利府町	利府町震災復興計画	平成23年12月 (令和2年度で計画期間終了)
女川町	女川町復興計画	平成23年9月 (平成30年度で計画期間終了)
南三陸町	南三陸町震災復興計画	平成23年12月 (令和2年度で計画期間終了)
内陸部市町	震災復興計画	策定期期
白石市	白石市東日本大震災復興計画	平成23年9月 (平成29年度で計画期間終了)
角田市	角田市震災復興・復興基本計画	平成23年8月 (平成27年度で計画期間終了)
登米市	登米市震災復興計画	平成23年12月 (平成27年度で計画期間終了)
栗原市	栗原市震災復興ビジョン	平成23年12月 (令和2年度で計画期間終了)
大崎市	大崎市震災復興計画	平成23年10月 (平成29年度で計画期間終了)
涌谷町	復興まちづくりマスタープラン	平成24年3月 (令和2年度で計画期間終了)



復興の進捗状況

主なインフラの復旧・復興状況

■コンテナ貨物取扱量(仙台臨海港(仙台港区))

R4/1～R4/12コンテナ貨物取扱量 約254,976TEU※ 速報値

H22/1～H22/12コンテナ貨物取扱量 216,345TEU

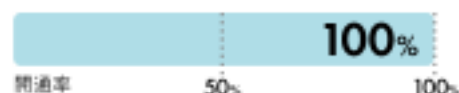
※TEU:20フィートコンテナ1個分相当を示す単位



■三陸沿岸道路(県内区間)

開通済延長 126.8km (R3/3/6完了)

計画延長 126.8km



■鉄道(県内在来線)

運行再開延長 約456.0km (H28/12/10完了)

※BRT(バス高速輸送システム)による復旧を含む。

JR、空港アクセス鉄道等
県内の鉄道延長 約456.0km



■仙台空港利用者数

国際線 R4/1～R4/12利用者数 940人
R1/1～R1/12利用者数 393,043人

H22/1～H22/12利用者数 271,932人



国内線 R4/1～R4/12利用者数 2,529,002人
R1/1～R1/12利用者数 3,462,344人

H22/1～H22/12利用者数 2,554,345人



復興の進捗状況

環境・生活・衛生・廃棄物関連

被災者の生活再建を進め、安心して暮らすことのできる
良好な生活環境を確保するとともに、環境保全など現代
社会を取り巻く諸課題に対応した社会の形成を目指します。

■防災集団移転促進事業

住宅等建築工事可能地区数 195地区 (H31/1未完了)

計画地区数 195地区



■災害公営住宅

完成戸数 15,823戸 (H31/3未完了)

計画戸数 15,823戸



■土地区画整理事業

住宅等建築工事可能地区数 35地区 (R2/11完了)

計画地区数 35地区



■災害廃棄物

処理・処分量 約1,160万トン (H26/3未完了)

沿岸15市町の
災害廃棄物の推計量 約1,160万トン



■津波復興拠点整備事業

住宅等建築工事可能地区数 12地区 (H29/9完了)

計画地区数 12地区



道の駅「さんさん南三陸」オープン
(志津川地区被災市街地復興土地区画整理事業地内)

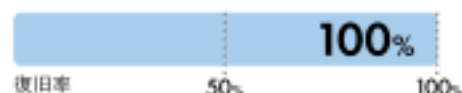




復興の進捗状況 保健・医療・福祉関連

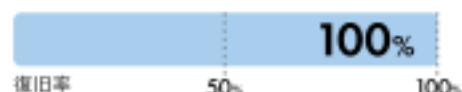
医療施設（病院・有床診療所）

再開した施設数	115施設（H30/9/1完了）
被災施設数	115施設（参考）震災前施設数：336施設



高齢者福祉施設（入所施設）

再開した施設数	198施設（H30/2/1完了）
被災施設数	198施設（参考）震災前施設数：453施設



被災者の健康支援の取組

サポートセンター
災害公営住宅などの見守りや生活・健康相談などを行う「サポートセンター」等の拠点が沿岸7市町17か所に開設されている。（R5/4/1現在）

地域包括ケアを推進する取組

「通いの場（かよいのば）」の普及
高齢者ができる限り自分らしい暮らしを続けられるよう、介護予防事業の一つとして「通いの場づくり」が進められている。

被災者の健康を守ることを最優先で考え、地域特性や
再建後の地域社会の姿を想定し、地域における保健・
医療・福祉などの提供体制を回復・充実させます。

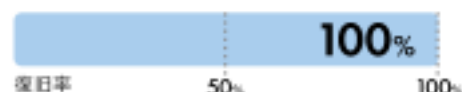
障害者福祉施設

再開した施設数	138施設（R3/3/31完了）
被災施設数	138施設（参考）震災前施設数：670施設



保育所（へき地保育所含む）

再開した施設数	135施設（R3/3/31完了）
被災施設数	135施設（参考）震災前施設数：374施設



県民の心のケアの取組

みやぎ心のケアセンター
心のケア拠点としての「みやぎ心のケアセンター」を設置し、被災者を対象とした訪問支援や相談会などの支援体制を整備。

障害者支援の取組

宮城県聴覚障害者情報センター（愛称：みみサボみやぎ）
被災した聴覚障害者の生活再建に向けた、相談支援や情報発信等を実施。



復興の進捗状況 経済・商工・観光・雇用関連

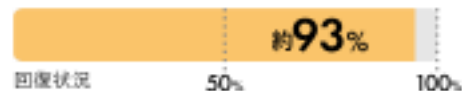
被災商工業者の営業継続状況

営業継続会員数（復旧済）	9,626会員（R3/3/31調査終了）
県内33商工会6商工会議所の被災会員（廃業を除く）	9,721会員

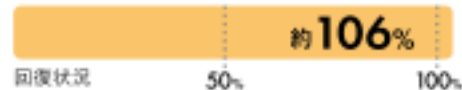


観光客入込数

全県	R4 : 5,724万人 ※R3:4,495万人
	H22 : 6,129万人



石巻・気仙沼圏域	R4 : 853万人 ※R3:640万人
	H22 : 806万人



※観光客入込数は、全県で平成29年度以降、石巻・気仙沼圏域でも令和元年に震災前の水準を上回った。令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したものの、現在は感染症拡大前の令和元年水準まで回復しつつある。

ものづくり産業の早期復興と、商業や観光の再生と
賑わいづくり、県民生活を支える雇用の創出を最優先
課題として、経済基盤を再構築します。

石ノ森萬画館「かわべでシアター」（石巻市）



台北市で開催された東北PRイベント「日本東北遊楽日」





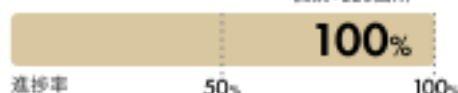
復興の進捗状況 公共土木施設災害復旧関連

「次世代に豊かさを引き継ぐことのできる持続可能なみやぎの県土づくり」の理念のもと、県民の命と生活を守り、震災を乗り越え、更なる発展につなげる県土づくりを目指して取り組みます。

■ 道路・橋梁施設(復旧工事)

完成箇所数 1,534箇所(R5/3未完了)

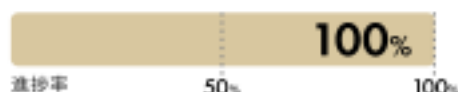
事業箇所数 1,534箇所 道路:1,411箇所
橋梁:123箇所



■ 河川施設(復旧工事)

完成箇所数 273箇所(R5/12未完了)

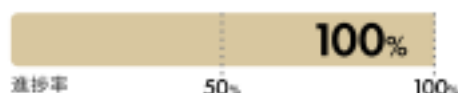
事業箇所数 273箇所



■ 海岸保全施設(復旧工事)

完成箇所数 73箇所(R4/2未完了)

事業箇所数 73箇所



面瀬川河川災害復旧事業完了(気仙沼市)



■ 砂防・地滑・急傾斜施設(復旧工事)

完成箇所数 8箇所(H26/3完了)

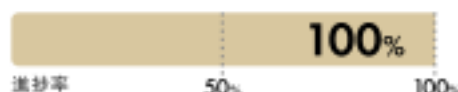
事業箇所数 8箇所



■ 下水道施設(復旧工事)

完成箇所数 121箇所(H26/3完了)

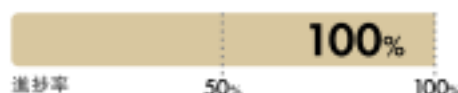
事業箇所数 121箇所



■ 港湾施設(復旧工事)

完成箇所数 280箇所(R4/1未完了)

事業箇所数 280箇所



一般県道石巻女川線 満富橋開通(女川町)



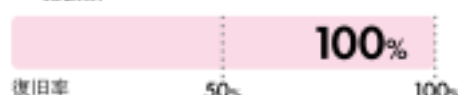
復興の進捗状況 教育・防災・安全・安心関連

教育の分野では、学校で学ぶ全ての子どもたちが、夢と志をもって、安心して学べる教育環境を確保します。防災・安全・安心の分野では、県民生活の安全・安心を守る社会基盤である防災機能や治安体制の回復、充実・強化を図ります。

■ 県立学校施設(復旧工事)

復旧済施設数 91校 高等学校 73/73校
特別支援学校 18/18校 (H30/8未完了)

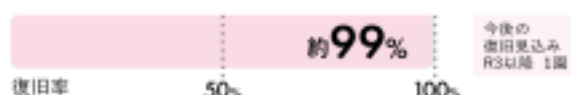
被災施設数 91校



■ 私立学校施設(復旧工事)

復旧済施設数 160施設 幼稚園 93/94園
小中高 29/29校 (R2/5未現在)
専修・各種 38/38校

被災施設数 161施設

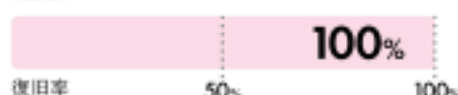


※教育活動については、全ての学校で再開済(仮設校舎等を含む)

■ 県立社会教育施設・県立社会体育施設(復旧工事)

復旧済施設数 16施設 社会教育施設 11/11施設
社会体育施設 5/5施設 (R3/1未完了)

被災施設数 16施設



「女川スタジアム公園」開園(女川町)





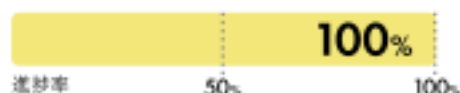
復興の進捗状況 農業・林業・水産業関連

沿岸部全域を中心に甚大な被害を受けたことから、諸施策の抜本的見直しを含めた大胆な取組等により、農林水産業については、地域経済を牽引する新たな成長産業へとステップアップを図るとともに、宮城県を我が国の食料供給基地として再生します。

■ 治山施設（山地・海岸）

完成箇所数 19箇所（R1/12未完了）

被災箇所数 19箇所



■ 海岸防災林

復旧完了面積 753ha（R3/4未完了）

復旧対象面積 753ha



■ 林道施設

完成箇所数 62箇所（H29/3完了）

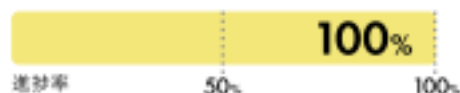
被災箇所数 62箇所



■ 農地（除塩含む）

復旧完了面積 約13,000ha（R3/3未完了）

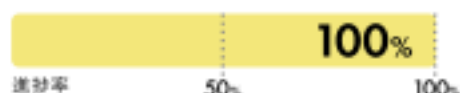
復旧対象面積 約13,000ha



■ 農業用施設（排水機場）

完成箇所数 47箇所（R3/1未完了）

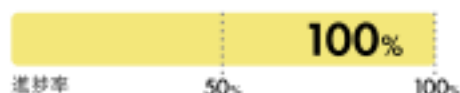
復旧対象箇所数 47箇所



■ 漁港（復旧工事）

完成箇所数 1,255箇所（R5/3未完了）

被災箇所数 1,255箇所



■ 漁船

稼働隻数 約8,800隻（H30/1完了）*

震災前の稼働隻数 約9,000隻



※復旧を希望する全ての漁船の復旧が完了

■ 国営（国営用ガラス室・ハウス復旧面積）

復旧完了面積 約178ha（H30/11未完了）

復旧対象面積 約178ha



■ 畜舎・畜産関連施設（堆肥センター等）

復旧施設数 186施設（H31/3未完了）

復旧対象施設数 186施設



農山漁村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）名取地区完了



宮城県への支援状況

国内外からの多大なる温かいご支援に支えられて、宮城は復興への歩みを進めています。
いただいたご支援に改めて感謝申し上げますとともに、ここではその一部をご紹介します。

- 活動ボランティア延べ人数 779,479人（H23.3.12～R5.11.30）
- 他都道府県などからの人的支援数 市町村/30人（R5.7.1現在）
- 寄附金（県内の災害復旧及び復興事業の財源のために活用させていただいております。） 14,121件 350億3,465万5千円（R5.12.31現在）
- 義援金（被災された方々に対する生活支援のために活用させていただいております。）
- ・県の受付状況 206,624件 273億1,204万円（受付終了）
- ・政府及び義援金受付団体からの配分状況 1,899億9,401万円（受付終了）
- 東日本大震災みやぎ子ども育英募金（東日本大震災による震災孤児などのために活用させていただいております。） 22,003件 126億8,988万円（R5.12.31現在）



- 3月 11日 東日本大震災発生「宮城県災害対策本部」設置/全市町村に災害救助法を適用
- 14日 東日本大震災の県内被災者が最大に(約32万人)
- 24日 東北自動車道の全面通行止め解除
- 30日 三陸自動車道が全面復旧

2011年度(平成23年度)

- 7日 宮城県沖を震源とするM7.1の余震発生
- 11日 「宮城県震災復興基本方針(素案)」公表
- 13日 仙台空港で震災後初となる国内臨時便が就航 ①
- 14日 塩竈市魚市場で震災後初の水揚げ
- 4月 22日 「宮城県震災復興本部」設置
- 27日 上皇上皇后両陛下が被災地をご訪問(南三陸町・仙台市)
- 28日 県内初の建設型応急住宅(プレハブ)入居開始(塩竈市)
- 29日 「震災復興キックオフデー」を宣言
東北新幹線が全線復旧

- 5月 2日 「宮城県震災復興会議」開催
- 20日 「東日本大震災復興基本法」成立
- 6月 25日 「東日本大震災復興構想会議」が「復興への提言」を決定
- 7月 25日 仙台空港で国内定期便が再開、国際臨時便も就航
- 8月 1日 自衛隊による復興支援活動終了

- 9月 12日 「東京電力福島第一原子力発電所事故対策みやぎ県民会議」設立
- 25日 仙台空港ビル完全復旧及び国際定期便運航再開

- 10月 1日 仙台空港アクセス鉄道が全線で運行再開
- 18日 「宮城県震災復興計画」策定

- 1日 宮城県震災復興本部に「被災者生活支援実施本部」を設置
「みやぎ心のケアセンター」を開設
- 12月 9日 「復興庁設置法」成立
- 11日 県内のライフラインが全て復旧(津波流出地域を除く)
- 26日 建設型応急住宅(プレハブ)全戸完成(406団地22,095戸) ②
- 30日 県内の全避難所が閉鎖

- 2月 10日 国が「復興庁」設置。仙台市に宮城復興局、石巻市及び気仙沼市に支所を設置
- 3月 19日 「東京電力福島第一原子力発電所事故被害対策実施計画」策定
- 26日 「宮城県災害対策本部」を廃止

2012年度(平成24年度)

- 4月 1日 全国初の県内公立学校への「防災主任」、拠点学校への「防災担当主幹教諭」を配置
- 7月 18日 「宮城県災害公営住宅整備指針(ガイドライン)」策定
- 20日 「新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業」事業認可(事業認可第1号)(石巻市)
- 8月 5日 「玉浦西地区防災集団移転促進事業」起工(県内初)(岩沼市)
- 20日 JR気仙沼線がバス高速輸送システム(BRT)による運行開始(気仙沼市・南三陸町・登米市) ③
- 10月 18日 「宮城県被災者復興支援会議」設置
- 1月 29日 気仙沼ブロック(気仙沼処理区)小泉地区焼却施設稼働式(県受託処理による焼却炉計26基全て完成)
- 3月 25日 「復興まちづくり事業カルテ」発表
- 26日 東日本大震災復興基金交付金(津波被災住宅再建支援分)を沿岸15市町に交付

2013年度(平成25年度)

- 4月 1日 県内初の災害公営住宅入居開始(仙台市・石巻市・山元町)/「みやぎ鎮魂の日」を定める条例施行
- 26日 「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」公表
- 5月 24日 陸中海岸国立公園が三陸復興国立公園として指定
- 6月 20日 県内初の「防災集団移転促進事業」が竣工(仙台市)
- 8月 23日 東松島市野蒜に大規模太陽光発電所(メガソーラー)が完成(東松島市)
- 9月 1日 水産産業復興特区を活用した新たな漁業がスタート(石巻市)
- 3日 「いちご団地」が完成。生産者に引き渡される(亶理町) ④
- 11月 3日 「復興使節船ミュージアム(サン・ファン館)」が再開(石巻市)
- 12月 17日 「農山漁村地域復興基盤総合整備事業」起工式(県内初の起工式)(岩沼市)
- 3月 12日 災害廃棄物処理の終了



2014年度(平成26年度)

1日	「改正震災対策推進条例」施行
4月 25日	仙台空港の民営化について、国がその実施方針を決定
30日	震災による県管理道路の通行止めが全て解除(石巻市・女川町)
7月 19日	「気仙沼 海の市・シャークミュージアム」がグランドオープン(気仙沼市)
9月 30日	災害廃棄物処理施設の解体撤去と用地の原状復旧並びに返地が終了
10月 4日	「わたり温泉島の海」が日帰り温泉を再開(亶理町)/交流拠点施設「さすなばと」がオープン(亶理町)
12月 6日	常磐自動車道のうち、未開通の相馬IC～山元IC間と浪江IC～南相馬IC間が開通(山元町)
14日	仙石線陸前大塚～陸前小野間のレール締結式を開催(東松島市)
1月 8日	「宮城県震災遺構有識者会議報告書」提出
1日	常磐自動車道が全線開通
3月 14日	国連防災世界会議とパブリック・フォーラム(関連イベント)が開催(仙台市)
21日	JR石巻線が全線運行再開 ⑤ 「おながわ復興まちびらき2015春」が開催(女川町)

2015年度(平成27年度)

5月 30日	JR仙石線全線運行再開・仙石東北ライン開業
6月 15日	東日本大震災関連の資料を取りまとめた「東日本大震災アーカイブ宮城」を公開
7月 19日	沿岸6地区の集団移転先である「玉浦西まちびらき」開催(岩沼市) ⑥
9月 1日	石巻市水産物地方卸売市場石巻売場全面供用開始(石巻市) ⑦
10月 4日	三陸沿岸道路「石巻女川IC」「県道石巻女川インター線」開通(石巻市) 美田園北地区まちびらき(名取市)
11月 3日	石巻市新市街地5地区まちびらき(石巻市)
6日	仙台市地下鉄東西線開通(仙台市)
12月 14日	「南三陸病院・総合ケアセンター南三陸」が開院(南三陸町)
23日	「女川駅前商業エリア」が開業し、「おながわ復興まちびらき2015冬」が開催(女川町) ⑧
2月 13日	「せんだい3.11メモリアル交流館」開館(仙台市)
3月 27日	三陸沿岸道路「仙塩道路」4車線化及び多賀城ICが開通

2016年度(平成28年度)

1日	宮城県多賀城高等学校災害科学科新設(多賀城市)/東北医科薬科大学の医学部新設(仙台市)
4月 16日	三陸沿岸道路「登米東和IC～三滝堂IC間」が開通(登米市)
24日	「岩沼市千年希望の丘交流センター」開所(岩沼市)
6月 1日	南三陸町地方卸売市場落成式(南三陸町)
7月 1日	仙台空港民営化(国が管理する空港の民営化第1号) ⑨
1日	石巻市立病院が開院(石巻市)
9月 24日	「あおい地区まちびらき」が開催され、青森ねぶたもまの誕生祝う(東松島市)
10月 23日	つばめの杜地区と新坂元駅周辺地区でまちびらき(山元町)
30日	三陸沿岸道路「三滝堂IC～志津川IC間」が開通(登米市・南三陸町)
12月 10日	JR常磐線の運休区間が再開(相馬～浜吉田間)(亶理町)
3日	「南三陸さんさん商店街」が本設移転し開業(南三陸町)
3月 19日	新門脇地区でまちびらき(石巻市)
20日	三陸沿岸道路「志津川IC～南三陸海岸IC間」が開通(南三陸町)
22日	東北初の商用水素ステーション運用開始(仙台市)

2017年度(平成29年度)

4月 23日	復興商店街「南三陸ハマーレ歌津」が本設店舗でオープン(南三陸町) ⑩
30日	「震災遺構 仙台市立荒浜小学校」が一般公開(仙台市)
5月 30日	女川町魚市場の復旧整備が完了(女川町)
6月 30日	観光交流施設「いしのまき元気いちば」がオープン(石巻市)
7月 14日	葛蒲田地区の海岸堤防や復興道路の整備が完了。海水浴場もフルオープン(七ヶ浜町)
22日	アートと音楽と食の新しい総合祭「リボンアート・フェスティバル2017」が開催(石巻市ほか)
9月 3日	南三陸町役場新庁舎が開庁(南三陸町)
1日	被災沿岸地域を駆け回る「東北・みやぎ復興マラソン2017」が開催(岩沼市・名取市・亶理町)
15日	野蒜ヶ丘地区で「まちびらきまつり」が開催(東松島市)
10月 25日	塩竈市魚市場の復旧整備が完了(塩竈市)
29日	新築移転した気仙沼市立病院が開院(気仙沼市) 宮内地区で「まちびらき樹祭」が開催(多賀城市)
11月 5日	「東松島市東日本大震災復興祈念公園」が完成(東松島市)
12月 9日	三陸沿岸道路「南三陸海岸IC～歌津IC間」が開通(南三陸町)
24日	かさ上げ道路「玉浦希望ライン」が全線開通(岩沼市)
3月 25日	三陸沿岸道路「大谷海岸IC～気仙沼中央IC間」が開通(気仙沼市)
31日	「気仙沼図書館・気仙沼児童センター」オープン(気仙沼市)

2018年度(平成30年度)

4月 1日	「荒浜漁港フィッシャリーナ」リニューアルオープン(亶理町)
-------	-------------------------------

4月	14日	「亶理都市公園・鳥の海公園」が完成～開園式開催～(亶理町)
	18日	女川町の「災害公営住宅整備事業」が完了～完了式典開催～(女川町)
5月	31日	石巻市防災センターが完成～開所式典開催～(石巻市)
7月	12日	塩竈市津波防災センターオープン(塩竈市)
	21日	渡波海水浴場で震災後初となる海開き(石巻市)
8月	24日	気仙沼内洋高等学校の新校舎が完成～入校式典開催～(気仙沼市)
9月	8日	「石巻市かわまち交流センター」が完成(石巻市)
10月	1日	女川町新庁舎が完成～開庁式典開催～(女川町)
	7日	宮城オルレ「気仙沼・唐桑コース」オープン(気仙沼市)
	8日	宮城オルレ「奥松島コース」オープン(東松島市)
	18日	志津川湾がラムサール条約湿地に登録(南三陸町)
2月	9日	山元町農水産物直売所「やまと夢いちごの郷」がオープン(山元町)
	16日	三陸沿岸道路「歌津IC～小泉海岸IC間」が開通(南三陸町・気仙沼市)
	16日	三陸沿岸道路「本吉津谷IC～大谷海岸IC間」が開通(気仙沼市)
3月	10日	「気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館」がオープン(気仙沼市) ⑪
	31日	県内全ての災害公営住宅が完成
2019年度(平成31年・令和元年度)		
4月	7日	「気仙沼大島大橋」が完成～開通式典開催～(気仙沼市) ⑫
	25日	「かわまちてらす開上」がオープン(名取市)
5月	10日	山元町新庁舎完成～開庁記念式典開催～(山元町)
	26日	開上地区まちびらき(名取市) ⑬
6月	9日	みちのく潮風トレイル全線開通
7月	20日	小泉海水浴場が9年ぶりの海開き(気仙沼市)
8月	2日	「震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎」公開開始(仙台市)
11月	30日	東部復興道路開通(仙台市) ⑭
2月	24日	三陸沿岸道路「気仙沼中央IC～気仙沼港IC間」が開通(気仙沼市)
2020年度(令和2年度)		
6月	12日	「宮城県水門・陸奥自動閉鎖システム」が運用開始
7月	18日	商業施設「ないわん」グランドオープン(気仙沼市)
9月	10日	国道398号「内海橋」が開通(石巻市) ⑮
	26日	「山元町震災遺構中浜小学校」が一般公開(山元町)
10月	3日	「名取市サイクルスポーツセンター」がグランドオープン(名取市) ⑯
	12日	「南三陸町震災復興祈念公園」全体開園(南三陸町)
11月	21日	三陸沿岸道路「小泉海岸IC～本吉津谷IC間」が開通(気仙沼市)
12月		「新・宮城の未来ビジョン」策定
3月	6日	三陸沿岸道路「気仙沼港IC～唐桑半島IC間」「気仙沼湾横断橋」が開通(気仙沼市)
	11日	「気仙沼市復興祈念公園」が開園(気仙沼市)
	18日	「JRフルーツパーク仙台あらはま」開業(仙台市)
	28日	「石巻南浜津波復興祈念公園」が開園(石巻市)
		「道の駅大谷海岸」グランドオープン(気仙沼市)
2021年度(令和3年度)		
4月	3日	「道の駅おながわ」開業(女川町)
6月	6日	「みやぎ東日本大震災津波伝承館」開館(石巻市)
	19～21日	県内各地で東京2020オリンピックの聖火リレーが行われる
7月	18日	「石巻市震災遺構大川小学校」開場(石巻市)
8月	19日	「マッシュパーク女川」オープン(女川町)
10月	3日	「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～」開催(石巻市)
12月	16日	東京2020復興のモニュメントがグランディ・21に設置、披露される(利府町) ⑰
3月	30日	「石巻市震災遺構門脇小学校」開館式を開催(石巻市)
2022年度(令和4年度)		
4月	1日	「女川スタジアム公園」開園(女川町)
	21日	「アクアイグニス仙台」オープン(仙台市)
7月	16日	お伊勢浜海水浴場が12年ぶりに海開き(気仙沼市)
	20日	野蒜海水浴場が12年ぶりに海開き(東松島市)
10月	1日	「南三陸311メモリアル」開館(南三陸町)
11月	1日	「宮城県制150周年記念式典」開催
2023年度(令和5年度)		
6月	24日	「みちのく潮風トレイル」関係自治体協議会 設立総会開催(名取市)
7月	2日	「鳥の海公園スケートボードパーク」オープン(亶理町)
	29日	「うみべの広場」オープン(南三陸町)
11月	5日	「東北・みやぎ復興マラソン2023」開催
	9日	「石巻市復興事業(基盤整備)完結式典」開催(石巻市) ⑱



本吉エリア 気仙沼・

気仙沼市／南三陸町

気仙沼・本吉エリアは県北東部に位置し、気仙沼市、南三陸町からなる1市1町です。太平洋に面した沿岸地域は、半島や入り江など、複雑かつ変化に富んだリアス式海岸を形成し、四季を通して豊かな天然の港です。

気仙沼市では、生鮮カツオの水揚げ量が27年連続日本一となりました。「第71回気仙沼みなとまつり」では「はまらいんや踊り」が東日本大震災前の会場である港町臨港道路で開催され、多に盛り上がりました。

南三陸町では、ひとびとが集い、交流する場として「うみへの広場」を整備し、令和5年7月にオープンしました。志津川市街地の回遊性を高めるとともに、町民及び来町された方々の憩いの場となることが期待されています。



気仙沼・本吉エリア

被害状況

	地域合計	県内合計
死者	1,840人	10,571人
行方不明者	425人	1,215人
全壊	11,626棟	83,005棟
半壊	2,749棟	155,131棟

令和5年9月30日現在

応急仮設住宅入居者数

	平成24年4月	令和2年12月
プレハブ住宅	14,085人	0人
民間賃貸借上住宅	4,944人	0人
計	19,029人	0人

災害公営住宅整備状況

	平成31年3月末
計画戸数	2,825戸
完了戸数	2,825戸



生鮮カツオ水揚げ量27年連続日本一(気仙沼市)



第71回気仙沼みなとまつり「はまらいんや踊り」

気仙沼・本吉エリアの定点観測

気仙沼市南町海岸地区

フェリーターミナルがあった気仙沼内湾地域は津波により大きな被害を受けました。現在は防潮堤が完成し、商業観光施設もオープンしています。



被災直後



被災から13年後

気仙沼市魚町地区

ランドマークとして地元の方々に親しまれた国登録有形文化財は、津波の被害により3階部分を残して倒壊しましたが、できる限り残存する既存材を使用し復元しました。



被災直後



被災から13年後

南三陸町志津川地区

津波によって骨組みだけが残された「南三陸町旧防災対策庁舎」は、令和2年10月に開園した「南三陸町震災復興記念公園」内にあり、震災の記憶や教訓を現在に伝えています。



被災直後



被災から13年後

南三陸町志津川地区

中心市街地の広範囲に津波が押し寄せ、大きな被害を受けました。令和4年10月には、道の駅「さんさん南三陸」及び南三陸町東日本大震災伝承館「南三陸311メモリアル」がグランドオープンしました。



被災直後



被災から13年後

写真提供：3.11 オモイデアーカイブ

石巻エリア

石巻市／女川町／
東松島市

石巻エリアは県東部に位置し、石巻市、女川町、東松島市からなる2市1町です。
世界三大漁場の一つである金華山沖漁場が近く、魚市場には年間を通じて豊富な魚種が数多く水揚げされています。
石巻市では、「石巻市震災遺構門脇小学校」の整備が完了し、令和4年4月に一般公開を開始しました。
女川町では、令和5年11月に離島「出島」と「本土」がついに出島架橋で結ばれました。令和6年12月の供用開始を目指し、事業を進めています。
東松島市では、令和5年8月に「東松島市震災復興伝承館」が来館者数20万人を達成しました。



石巻市震災遺構門脇小学校(石巻市)

石巻エリア

被害状況

	地域合計	県内合計
死者	5,301人	10,571人
行方不明者	696人	1,215人
全壊	28,487棟	83,005棟
半壊	18,957棟	155,131棟

令和5年9月30日現在

応急仮設住宅入居者数

	平成24年4月	令和2年12月
プレハブ住宅	24,517人	0人
民間賃貸借上住宅	16,968人	0人
計	41,485人	0人

災害公営住宅整備状況

	平成31年3月末
計画戸数	6,416戸
完了戸数	6,416戸



出島架橋(女川町)の架設(供用は令和6年12月以降)



東松島市震災復興伝承館で来館者20万人達成

石巻エリアの定点観測

石巻市中瀬地区

石巻市中心部と中瀬地区を結ぶ「西内海橋」は、東日本大震災により甚大な被害を受けましたが、令和3年1月から名称も新たに「西中瀬橋」として供用を開始しました。



被災直後



被災から13年後

写真提供：3.11 オモイデアーカイブ

石巻市南浜地区

令和4年3月、旧北上川の河口付近に、東の湊地区と西の南浜・門脇地区をつなぐ「石巻かわみなと大橋」が完成し、住民生活の利便性の向上や、災害時の救助・救援道路としての役割が期待されています。



被災直後



被災から13年後

写真提供：3.11 オモイデアーカイブ

女川町女川地区

壊滅的な被害を受けた女川駅周辺は、多くの人々が訪れ賑わう空間となりました。この女川駅前商店街エリアは、令和3年4月に「道の駅おながわ」として登録されました。



被災直後



被災から13年後

東松島市野蒜地区

「東松島市東日本大震災復興祈念公園」には、津波の被害を受けた旧野蒜駅プラットフォームが震災遺構として保存されており、隣接する祈念広場には慰霊碑（震災復興モニュメント）があります。



被災直後



被災から13年後

仙台沿岸 エリア

仙台市／松島町／利府町／
塩竈市／七ヶ浜町／
多賀城市／名取市／
岩沼市／亶理町／山元町

仙台沿岸エリアは松島町以南の沿岸地域で、仙台市、松島町、利府町、塩竈市、七ヶ浜町、多賀城市、名取市、岩沼市、亶理町、山元町からなる5市5町です。太平洋と仙台平野に挟まれたこの地域は、比較的温暖かつ穏やかな気候が特徴で、都市部からのアクセスも良好です。

令和5年5月には、津波の被害を受けた名取市北釜地区に初めての企業進出が決まり、安全祈願祭が行われました。研修センターを建設中で令和7年4月の供用開始予定です。

7月には、亶理町に鳥の海公園スケートボードパークがオープンし、連日多くのスケーターで賑わっており、地域の交流人口増加が期待されています。



鳥の海公園スケートボードパーク(亶理町)

仙台沿岸エリア

被害状況

	地域合計	県内合計
死者	3,397人	10,571人
行方不明者	89人	1,215人
全壊	41,546棟	83,005棟
半壊	124,923棟	155,131棟

令和5年9月30日現在

応急仮設住宅入居者数

	平成24年4月	令和5年10月
プレハブ住宅	14,382人	0人
民間賃貸借上住宅	37,861人	5人
計	52,243人	5人

災害公営住宅整備状況

	平成31年3月末
計画戸数	6,222戸
完了戸数	6,222戸



「アクアイグニス仙台」オープン(提供:アクアイグニス仙台)



東北・みやぎ復興マラソン2023の開催

仙台沿岸エリアの定点観測

仙台市若林区荒浜地区

県南沿岸部を南北に貫く県道塩釜亶理線を6メートルかさ上げた東部復興道路が令和元年11月に全線開通したほか、防災集団移転跡地の利活用が進み、「JRフルーツパーク仙台あらはま」など様々な事業が展開されています。



被災直後

写真提供：3.11 オモイデアーカイブ



被災から13年後

塩竈市海岸通地区

塩竈市の中心であるJR本塩釜駅周辺も津波で浸水しましたが、国道45号のかさ上げとともに、密集市街地の環境改善のため、地区周辺一帯で複合的な市街地再開発が進められました。



被災直後

写真提供：3.11 オモイデアーカイブ



被災から13年後

名取市・岩沼市

沿岸部に位置する仙台空港は、津波により機能が一時完全に停止するなど大きな被害を受けましたが、半年後には旅客ターミナルビルの完全復旧と国際定期便の運航再開を果たしました。



被災直後

写真提供：3.11 オモイデアーカイブ



被災から13年後

亶理町荒浜地区

亶理町荒浜地区には、直売所や商店街のほか島の海公園に運動場が整備され、子どもから大人まで幅広い世代が様々なスポーツで汗を流しています。



被災直後

写真提供：3.11 オモイデアーカイブ



被災から13年後

東日本大震災から13年を経て、宮城県では被災地の復興が進むと同時に、多くの震災伝承施設がオープンしました。それぞれに思いの込められた展示施設やプログラムの特徴を、エリア別にご紹介します。

宮城の復興と伝承



※臨時休館日など詳しくは各施設にお問合せください。



気仙沼・本吉エリア

海とともに生きる三陸の人と文化を学ぶ

施設
1

南三陸311メモリアル



■ 伝承と学びのプログラム

感性に働きかけるラーニングプログラム

1名から申し込める「ラーニングプログラム」は、町民たちの証言等をもとに構成されたプログラムです。映像を鑑賞するだけでなく、町民の証言をもとに提示される問いに対して、「もし、自分がそこにいたら、どう考え、行動するか」を考え、1分ほどまわりの人と話し合います。100%の正解がない問いに対して、思考を巡らせ、悩み、考えることができます。



南三陸町役場提供

1

対話の時間を含む
ラーニングプログラム

2

自然と人間の関係に
向き合う現代アート

感じることにフォーカスした学びの場
見学者に津波災害を自分ごととして感じてもらうために工夫された体験型のプログラムが特徴。証言映像をもとに津波災害と避難行動を具体的に考える「ラーニング」、地域住民の証言や写真、映像を継続的に収集・保存しつつ展示する「アーカイブ」、震災をテーマにした現代アート作品の鑑賞を通して自然と人間との関係や命について考える「フィールドワーク」の3つをミッションとして提供しています。

被災の傷跡 南三陸町旧防災対策庁舎



予想を超える津波の高さにより、43名の地域住民と町職員が亡くなられた旧防災対策庁舎を保存。周囲の被災建物のほぼ全てが解体された中、震災復興祈念公園のシンボルとして悲劇を伝え続けています。

DATA

南三陸311メモリアル

宮城県本吉郡南三陸町志津川字五日町200-1
開館時間:9:00~17:00 休館日:火曜、年末年始
(12月29日~1月3日) TEL:0226-28-9215



気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館



■ 伝承と学びのプログラム

中高生も語り部になる「みんな語り部」

通常は予約制(有料)で「語り部ガイド」を行っています。毎月11日の月命日やその前後の土日のどちらか(要問合せ)には「語り部の話を聞いた誰もが、次に誰かの語り部になる」というコンセプトのもと、地元の中高生が無料で語り部ガイドをしています。市民有志の語り部団体に、地元の中高生約30人が登録しています。



1 被災当時の校舎を
そのままの姿で保存

2 地元の中高生が
語り部ガイドとして活躍

学校の備品や流入物までが保存され 時が止まったような校舎

海から約250mの位置にあり、13mを越す巨大津波で被災した「気仙沼向洋高等学校」の旧校舎を遺構として保存するとともに、展示や研修会場を備えた伝承施設を併設。遺構内部は机や椅子にとどまらず、散乱した教科書や教室の備品なども被災した姿のままに展示しています。伝承施設は豊富な写真や映像展示で津波被災を多角的に学ぶことができ、各種体験プログラムも開催しています。



校舎3階のベランダから教室内に流入した車や、建物の衝突で大きく破損した外壁、校舎と校舎の間に折り重なった車などが保存され、津波の強烈な破壊力を直接的に感じることができます。

DATA 気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館

宮城県気仙沼市波路上瀬向9-1

開館時間:9:30~17:00(4月~9月)、9:30~16:00

(10月~3月) 休館日:月曜(月曜が祝日の場合は

翌日)、12月30日~1月4日 TEL:0226-28-9671



リアス・アーク美術館



■ 伝承と学びのプログラム

自ら感じ、考えるための博物館展示

津波伝承のみを目的とするのではなく、地域の歴史と文化の中で自然と向き合って生きることを考えるため、館全体の展示を見ることで総合的に地域と人と自然災害について学ぶことができる展示設計になっています。



1 地域の歴史文化の中で
津波を考える

2 写真や被災物を
物語とともに展示

地域文化の中で津波を知り、 人と自然の関わりを学ぶ

東北ゆかりの現代美術と地域の歴史民俗を展示する総合博物館的な美術館に、津波についての常設展を設置。三陸沿岸部を繰り返し襲ってきた津波も地域文化を形成する重要な要素であると考え、学芸員自らが東日本大震災発生直後から2年に亘り調査・収集した写真及び被災した物品を展示。明治29年、昭和8年、昭和35年の津波を伝える歴史資料も展示しています。



「被災した物品は「瓦礫」ではなく誰かの大切な日常の記憶が詰まった被災物」と考え、その一つ一つにまつわる記憶や思いを伝える物語を添えて展示しています。

DATA リアス・アーク美術館

宮城県気仙沼市赤岩牧沢138-5

開館時間:9:30~17:00 休館日:月曜、火曜、祝日

の翌日(土日を除く) TEL:0226-24-1611





みやぎ東日本大震災津波伝承館



■ 伝承と学びのプログラム

県内の様々な語り部の話が聞ける

毎週土曜日に県内各地からゲストを招いて「語り部講話」を実施。様々な立場で防災や復興、伝承に取り組む方のお話を予約なしで聞くことができます。県内の語り部の育成と相互理解を目指し、公益社団法人3.11メモリアルネットワークとも連携しています。



1

宮城県全体の被災状況を伝える

2

被災体験者などのインタビュー映像が豊富

宮城県の伝承施設の玄関口として
広域の人びとの声を伝える

被災前は1,885世帯が暮らしていた石巻市南浜地区に、石巻南浜津波復興祈念公園とともに整備された施設です。県内全域の被災状況や各地の伝承施設について、パネル等でわかりやすく展示しています。また、各地の被災体験者や、語り部活動を行う人、復興に取り組む団体などのインタビュー映像が豊富（79団体90人）に展示され、命を守る行動についてリアルな映像で学べる映像シアターもあります。

被災の傷跡 門脇保育所跡（石巻南浜津波復興祈念公園）



石巻南浜津波復興祈念公園は、東日本大震災でお亡くなりになった生命に対する追悼の場として整備され、震災の記憶と教訓を後世に伝えていきます。門脇保育所跡の基礎などの遺構が保存されています。

DATA

みやぎ東日本大震災津波伝承館

宮城県石巻市南浜町2丁目1-56
開館時間：9:00～17:00 休館日：月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月4日）※毎月11日は曜日・祝日にかかわらず閉館 TEL:0225-98-8081



石巻南浜津波復興祈念公園

宮城県石巻市南浜町2丁目1-56
開館時間：9:00～18:00（4月～9月）、9:00～17:00（10月～3月） TEL:0225-98-7401



その他周辺の伝承施設・震災遺構



石巻市震災遺構大川小学校

宮城県石巻市釜谷字大川94
TEL:0225-24-6315



東日本大震災遺構 旧女川交番

宮城県牡鹿郡女川町海岸通り1
TEL:0225-24-8118
（女川みらい創造（株））

震災伝承みやぎコンソーシアム

県では、震災の記憶や教訓を広く後世に伝え継ぐため、伝承団体や学術機関、報道機関、企業、行政機関など、多様な主体である会員同士がゆるやかに連携し、一丸となった震災伝承の取組を目指して、令和4年9月に「震災伝承みやぎコンソーシアム」を設立しました。

随時会員募集中
詳細はこちら▼



石巻市震災遺構門脇小学校



■ 伝承と学びのプログラム

心に問いかける展示「記憶を紡ぐ」

展示館となっている特別教室棟の3階に、学芸員自らの被災体験と様々な思いを抱える市民の方々の証言をもとに「災害から学ぶべきことは何なのか」「命とは、生きるとは何か」を深く伝えるために制作された言葉と絵が展示され、訪れた人が自分の人生を重ねて考えることができます。

1 津波火災の痕跡を残す
唯一の震災遺構2 深く心に問いかける
工夫がされた展示

被災のリアルとそこにあった日常を同時に伝える

津波火災の壮絶な様相を伝える校舎の遺構と、旧特別校舎を利用して新たに設けられた様々な展示室を巡ることで、被災直前までそこにあった子どもたちの日常や何気ない日々の大切さ、避難行動を自分ごとにする重要性について見学者に深く語りかけるよう工夫されています。被災した車両や応急仮設住宅の実物、石巻平野を繰り返し襲った津波の痕跡も展示されています。

被災の傷跡



遺構として保存された校舎は、床から1.8mの津波が襲った1階、火災で燃えた2階、全壊した3階で様子が異なり、複合災害の恐ろしさと避難行動を深く考える必要性を伝えています。

DATA 石巻市震災遺構門脇小学校

宮城県石巻市門脇町4丁目3-15

開館時間:9:00~17:00 TEL:0225-98-8630

休館日:月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/3)



東松島市震災復興伝承館



■ 伝承と学びのプログラム

地元住民による施設ガイドや「公開語り部」

伝承館には地元住民のスタッフが常駐し、説明を受けながら施設を見学することができます。また、およそ月1回、防災士など住民有志で組織する市民グループ「SAY'S(セイズ)東松島」が企画する「公開語り部」を実施し、誰でも参加することができます。

1 駅のプラットフォームを
遺構として保存2 復興の過程や「今」も
知ることができる

市民の日常生活とともに津波災害を考える

震災遺構の旧野蒜駅プラットフォーム、お亡くなりになった方々の慰霊碑を備えた折念広場と伝承館が東日本大震災復興折念公園内に一体的に整備されています。1階には、東松島市の復興・復興状況や、市の取組の紹介、全国から応援のために派遣された自治体職員の名板などがあり、東松島市の物産も販売しています。2階では被災時の様子を写真や映像シアターで克明に伝える展示を行っています。

被災の傷跡



旧野蒜駅プラットフォーム

住民が日常的に使用していた駅を震災遺構として保存しています。ゆがんだ線路や折れ曲がった柱などが津波の威力を伝えています。

DATA 東松島市震災復興伝承館

宮城県東松島市野蒜字北余景56-36

開館時間:9:00~17:00 休館日:毎月第3水曜、

年末年始 TEL:0225-86-2985





施設
7

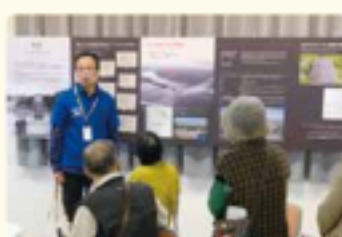
名取市震災復興伝承館



■ 伝承と学びのプログラム

市民団体による多彩な伝承活動

周辺では複数の市民団体が伝承活動を実施しており、関上地区のガイドや語り部講話、防災・減災ワークショップなど、ご希望に応じてご紹介することが可能です。



1 現地再建したまちの中にある伝承館

2 市民による伝承活動が盛ん

復興したまちの活気も感じることができる

甚大な津波被害を受けながらも、海岸沿いの防潮堤と、さらに内側に建設したかさ上げ道路による多重防御の考え方で現地再建した関上地区にある伝承館。津波被害についての映像や展示、簡単な防災体験のコーナーがあります。当施設の周辺にも被災の記憶を伝える展示や震災メモリアル公園が点在しており、災害について学びながら復興した関上のまちを楽しむことができます。

被災の傷跡 名取市震災メモリアル公園



「遺構と伝承ゾーン」に津波から逃れた人を守った歩道橋の桁や商店街で被災したすずらん灯が残されており、日和山では1933年の昭和陸地震津波を記した震嚙(しんしょう)記念碑が見られます。

DATA 名取市震災復興伝承館

宮城県名取市関上東1丁目1-1 開館時間:9:30～16:30(4月～11月)、10:00～16:00(12月～3月)
休館日:火曜(火曜が祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日) TEL:022-393-6520



その他周辺の伝承施設・震災遺構



せんだい3.11メモリアル交流館

宮城県仙台市若林区荒井字音形85-4(地下鉄東西線荒井駅舎内)
開館時間:10:00～17:00 休館日:月曜(月曜が祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土・日曜、祝日を除く)、年末年始 TEL:022-390-9022



塩竈市津波防災センター

宮城県塩竈市港町1丁目4-1
開館時間:9:00～17:00 休館日:月曜・第2火曜日(当該日が祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日) TEL:022-794-7232



松島町石田沢防災センター

宮城県松島町松島字石田沢12-2
開館時間:9:00～17:00(3月～10月)、9:00～16:00(11月～2月)
休館日:水曜、12月29日～1月3日 TEL:022-354-5782



岩沼市千年希望の丘交流センター

宮城県岩沼市下野郷字洪177
開館時間:9:00～17:00 休館日:火曜(火曜が祝日の場合は翌日)、年末年始(12月26日～1月7日) TEL:0223-23-8577

震災遺構 仙台市立荒浜小学校



■ 伝承と学びのプログラム

避難から救助までの克明な記録を見られる

4階展示室「3.11荒浜の記憶」では、14時46分の地震発生から避難者全員が救出されるまでの27時間の状況を時系列でたどることのできる展示に加え、当時の校長や町内会長などの証言や消防ヘリの映像を交えた約17分の映像を上映しています。



1 320人の避難と救助を伝える

2 地区の生活や歴史も保存・展示

児童・地域住民を守った校舎と、救助までの記録を展示

児童や教職員、住民など320人が屋上に避難し、難を逃れた校舎を、発災から救助までの記録とともに保存。校舎1階と2階では津波により湾曲した壁面や破損した天井、津波の跡を被災直後の写真とともに見ることができ、4階では避難開始から救助までの記録を映像や展示で克明にたどることができます。荒浜地区の歴史や文化についても紹介しています。

被災の傷跡



震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎
荒浜小学校から徒歩7分の場所に、津波により被災した住宅の基礎部分や浸食された地形の一部を保存し公開しています。津波の威力やかつての暮らしの様子を説明する案内看板が設置されています。

DATA

震災遺構 仙台市立荒浜小学校

宮城県仙台市若林区荒浜字新堀端32-1
開館時間：9:30～16:00(9月～6月)、9:30～17:00
(7月～8月) 休館日：月曜及び第4木曜(祝日を
除く)、年末年始 TEL:022-355-8517



山元町震災遺構 中浜小学校



■ 伝承と学びのプログラム

当時の小中学校職員の話をも直接聞ける

館内ガイドや予約制の語り部ガイドとして当時の小中学校職員が参加しており、震災当日の様子や学校でのことなど、具体的な解説を聞くことができます。屋根裏での避難の様子は常時解説が聞けるほか、予約制のガイドは施設見学に随行して詳しく解説してくれます(有料)。



1 当時の教職員らの解説が聞ける

2 見学前後に活用できるガイドブック

遺構見学と館内ガイドで防災について深く学べる

被災した当時のまま保存された校舎の見学、館内ガイドによる避難時の状況の説明、展示内容が詳しく書かれたガイドブック(有料)などで、学校での防災を総合的に学ぶことができます。遺構整備のプロセスや見学体験の総合的なデザイン手法が評価され、2020年度「グッドデザイン賞(ベスト100)」並びに防災・復興分野の「グッドフォーカス賞」を受賞しました。

被災の傷跡



児童・教職員・地域住民90人が避難した屋根裏の倉庫が当時の様子のまま保存されており、寒さと余震に耐えながら過ごした一夜を自分のことのように想像することができます。

DATA

山元町震災遺構 中浜小学校

宮城県山元町山元町坂元字久根22-2
開館時間：9:30～16:30 休館日：月曜(月曜が
祝日の場合は翌日)、年末年始(12月28日～1月4日)
TEL:0223-23-1171





表紙：千年希望の丘相野釜公園（岩沼市）

公園内には慰霊碑のほか、交流センターが所在しています。震災の記憶や教訓を発信するメモリアル公園と防災教育の場となっています。詳しくは公式HPをご覧ください。



発行：令和6年3月

宮城県震災復興本部(事務局：復興支援・伝承課)
〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号
TEL 022-211-2424